

尿酸生成抑制薬 地域フォーミュラリ

推奨	第一推奨	オプション①	オプション②
成分名	フェブキソstatt	トピロキソstatt	アロプリノール
薬価	普通錠 10mg:6.1円 20mg:10.4円 40mg:17.3円 OD錠 10mg:6.1円 20mg:10.4円 40mg:17.3~18.2円	20mg:15.3円 40mg:29.7円 60mg:41.2円	50mg : 10.4円 (GEに該当しない) 100mg : 8~10.4円
用法用量	〈痛風、高尿酸血症〉 通常、成人にはフェブキソstattとして1日10mgより開始し、1日1回経口投与する。その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に增量する。 維持量は通常1日1回40mg 〈がん化学療法に伴う高尿酸血症〉 通常、成人にはフェブキソstattとして60mgを1日1回経口投与する。	〈痛風、高尿酸血症〉 通常、成人にはトピロキソstattとして1回20mgより開始し1日2回朝夕に経口投与する。 その後は血中尿酸値を確認しながら必要に応じて徐々に增量する。 維持量は通常1回60mgを1日2回	〈痛風、高尿酸血症〉 成人は1日量アロプリノールとして200~300mgを2~3回に分けて食後に経口投与する。 年齢、症状により適宜増減する。
禁忌	メルカプトプリン水和物又はアザチオプリンを投与中の患者	メルカプトプリン水和物又はアザチオプリンを投与中の患者	なし
特徴 推奨理由	尿酸低下作用が強く、服用回数が1日1回。 OD錠の剤形がある。 がん化学療法に伴う高尿酸血症の適応がある。	腎機能中等度低下患者においても薬物動態パラメーターは腎機能正常患者と変わらない。 1日2回服用のため尿酸値の日内変動を小さくできる。	価格が安い。

尿酸低下作用：フェブキソstatt > トピロキソstatt > アロプリノール